

- 2 風水害から身を守る備えを
- 3 地球に優しいまちづくり
- 4・5 **特集**  
七沢の守り人
- 6・8 街の話題/コラム/お知らせ

かねがたけ  
鐘ヶ嶽ハイキングコース

## 歴史の道を訪ねて

### 市内のハイキングコース



「あ、石像があるよ」「陽の光が当たって幻想的だね」。大きな石の上に鎮座する石仏に、優しく木漏れ日が差し込みます。七沢にある「鐘ヶ嶽ハイキングコース」。約3・7kmの山道は、古くから富士山を崇拝する浅間信仰の巡礼道として親しまれてきました。江戸時代に作られた石仏や石塔が立ち並ぶコースは、心身を癒やすとされ、「セラピーロード」としても認定されています。山頂にある浅間山七澤神社と共に、地元の皆さんが定期的に清掃や伐採などをして維持しています(4・5面に関連記事あり)。

市内の山や森を案内する森林セラピー基地案内人の横山浩久さん(74・七沢)は「厚木には市が指定するコースだけでも8カ所あります。若葉の輝きはこの時期ならではの魅力なので、ぜひ遊びに来てほしい」と勧めます。緑がまぶしい6月。心身を癒やしに、厚木の山へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

岡観光振興課 ☎225-22020

### 観光協会や観光案内所で配布中 厚木大山ハイカーズガイド

市が発行するハイカーズガイド(HPでダウンロード可)では、初心者から健脚な方まで楽しめる市指定の八つのコース(上図)を写真付きで紹介しています。市では、ハイキングコースを観光客誘致の重要な観光資源として捉え、今後もさらなる整備・活用を進めていきます。



コースへの行き方や周辺の観光情報も掲載

Zoom Up

「逃げ遅れ」で命を失わないために

# 風水害から身を守る備えを

梅雨入りする6月から、台風シーズンの8月・9月ごろまでは風水害が発生しやすい時期です。道路の冠水や土砂崩れ、河川の氾濫などを引き起こす災害から大切な命を守るために、必要な準備や知識を確認しておきましょう。

昨年8月に発生した台風10号は、死者・行方不明者を27人出すなど、全国に甚大な被害をもたらしました。中でも、岩手県岩手町では、高齢者のグループホームが被災。避難の遅れから入所者9人全員が命を落としています。

逃げ遅れないためには、いち早い情報の入手と確な判断が必要です。市では災害時、被害状況に合わせた情報

## 状況に応じた避難行動を

を発信しています。情報を確実に入手できる環境を整え、いつ、どんな行動を取るべきかを日頃から想定しておきましょう。

風水害時などで市が発令する情報には、「避難準備・高齢者等避難開始」と

「避難勧告」「避難指示（緊急）」の三つがあります（右中欄参照）。それぞれの避難情報が持つ意味合いを確認しておきましょう。道路が冠水してからの避難は、側溝に足を取られる恐れが

あるなど大変危険です。指示が出ていない場合でも、状況に応じて避難をしましょう。特に、避難に援助や時間を要する高齢者や障がいのある方などは、早めに避難を開始してください。

市ではこれらの避難情報や被害状況を、市ホームページや防災行政無線、広報車、メールマガジン（左中欄参照）、テレフォンサービス、データ放送（テレビ神奈川）やラジオ（FMヨコハマ・FMカオン）で発信しています。また、天候や地域により防災行政無線が聞こえにくいという声にこたえるため、防災ラジオの有償配布も実施しています（右下参照）。情報が得られず逃げ遅れることがないように、情報を入手する

## 地域が持つ危険性を確認

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨は、茨城県常総市で死者を2人出し、3000戸以上の住宅が浸水するなど、大きな爪痕を残しました。

これを受けて神奈川県は3月、相模川と中津川の洪水浸水想定を見直しました。これまでの「100年〜150年に一度発生する降雨」に加え、「近年の被害で想定し得る最大規模の降雨」の想定を発表。浸水被害の範囲や浸水継続時間などを表す想定区域図

## 市が発令する避難情報

### 避難指示（緊急）

緊急度★★★★

人的被害の発生またはその恐れ有り。直ちに安全な場所へ避難を開始

### 避難勧告

緊急度★★

河川の氾濫や土砂崩れの危険有り。緊急避難所へ避難を開始

### 避難準備・高齢者等避難開始

緊急度★

避難準備を開始。高齢者などは、この段階から避難を開始

方法を確認しておきましょう。

## 防災ラジオ有償配布を受け付け

昨年度実施した防災ラジオの有償配布を、今年も受け付けます。

- ①市内全域をカバー。どこにいても受信可能
- ②聞きそびれても最新の放送を自動録音
- ③AM・FMの他、緊急時は市の放送を優先

《対象》市内在住の方・事業所・団体  
《費用》1台4000円《配布方法》危機管理課で代金を引き換えに配布  
《配布台数》500台《配布予定日》9月以降

☎危機管理課または公民館にある申込書（☑からダウンロード可）に必要事項を書き、6月30日（必着）までに危機管理課または公民館に直接または郵送で〒243-8511危機管理課へ。抽選。

☎危機管理課 ☎225-2190



風水害では倒木などの思わぬ事故も発生する

## 「自分は大丈夫」ではなく「被害に遭うかもしれない」という心構えを



株式会社危機管理研究所  
危機管理アドバイザー  
国崎 信江さん

風水害における死亡事故の最も大きな原因は「逃げ遅れ」です。逃げ遅れは、「まさか自分は被害に遭わないだろう」という油断から生まれます。ハザードマップで災害時の危険性を確認し、自分を守る行動を考えておきましょう。最近では、100年・150年に一度と言われるような記録的豪雨や台風が頻発していますが、これらの風水害は、突発的に起こる地震と違い、予報や雨の降り方などからある程度予測できます。情報を自ら積極的に収集し、少しでも異常や危険を感じたら、早めの自主避難や浸水時の上階への避難といった、迅速な行動につなげましょう。風水害時の避難のタイミングや方法は、地域や家族構成によってさまざまです。行政からの指示をただ待つのではなく、各々の状況によって、どの段階で準備・避難を始めるのかを時系列順にまとめた独自のタイムラインを考えておくことも、逃げ遅れないための秘訣です。

## 災害情報をメールで配信

### メールマガジン登録受付中

防災行政無線で放送している災害情報などを、メールマガジンでも配信しています。災害時に情報を素早く入手するために登録をしておきましょう。

登録はこちらから▶



を公表しました。また市でも、恩曾川の洪水・浸水の想定区域図を新たに作成。相模川、中津川は県ホームページで、恩曾川は市ホームページでそれぞれご覧いただけます。各公民館やコミュニティあつぎなどにも掲示していますので、地域の洪水浸水想定箇所を確認してください。県ではこの他、荻野川や小鮎川、玉川、細田川についても見直していく予定です。

市では、洪水・浸水情報や災害時の情報伝達方法、状況に応じた避難方法などをハザードマップに反映し、公表していきます。これらを参考に、自分の職場や居住地地域の危険箇所を確認し、避難のルートやタイミングを決めておきましょう。

災害時に逃げ遅れて手遅れとなる前に、行政の情報などを活用し、日頃から風水害に備えましょう。

☎危機管理課 ☎225-2190  
河川ふれあい課 ☎225-2380



あつぎ 元気Wave  
CATV 6/16~放送  
一人一人ができる  
環境保全活動を紹介

みはる野自治会では定期的に花壇の手入れを実施



毎年約2500人が参加する相模川クリーンキャンペーン

## Zoom Up

できることから始めよう

# 地球に優しいまちづくり

限りある資源を効果的に利用する循環型社会の実現を目指して、市では地域の皆さんや企業、学校などと協力して、ごみの減量化・資源化、美化活動などに取り組んでいます。6月は環境月間。日々の生活を振り返り、身近なところからより良い環境づくりを始めましょう。

### 地域で取り組むエコ活動

近年、地球温暖化の進行やエネルギー問題など、わたしたちを取り巻く地球環境は刻々と変化しています。快適に安心して暮らせる環境を未来に残していくために、一人一人ができることから取り組むことが必要です。

市内では、数多くの自治会やボランティア団体がごみ拾いや花壇の整備など、環境に関わる活動に取り組んでいます。こうした地域での活動は、参加者はもちろん、活動を目にした方の環境保全への意識やまちへの愛着心を高めています。

地域の子どもたちと花壇整備をするみはる野自治会の副会長・池田浩幸さん(37・みはる野)は「皆できれいなまちをつくることで、いつまでも住み続けたいと思える場所になれば」と意気込みます。参加した子どもたちは活動をきっかけに環境問題に興味を持って、その他の活動にも参加しています。

市では、公園や河川のごみ拾い、落書き消去活動、フリーマーケットの開催など、さまざまな活動を展開・支援

### 食べ残しをなくそう

しています。市民や企業の皆さんと一緒に環境保全に取り組み、地球に優しいまちづくりを進めます。

環境保全は美化活動などへ参加するばかりでなく、ちょっとした心掛けで取り組むことができます。近年注目を集めているのが、食べ残しや調理中の過剰な廃棄によって発生する「食品ロス」です。ごみの増加に加え、その処分には余分なエネルギー資源を消費するなど、環境へ多くの負担を掛けていると。市内で出ている年間約2万6千トンの生ごみなどのうち、約6千トンは食品ロス。これは1日1人当たり、約64g(食パン1枚分)に相当します。

このような現状を受けて市では、食品ロス削減を打ち出し、3010運動(下欄参照)の推進、生ごみ処理機「キエーロ」(右下写真)を使った環境教育などを支援。食品の計画的購入・消費の重要性を呼び掛けています。私たちの生活から切っても切り離せない食。食材を買い過ぎたり、作り過ぎたりして余らせていないか、日々の食卓



残飯を土に還す生ごみ処理器「キエーロ」を使う七沢希望の丘初等学校の児童たち

### 身近なことから実践を

を見直すことから始めましょう。

「環境を守る」と言うと大変なことのように感じますが、照明のこまめな消灯や公共交通機関の利用、ごみの正しい分別など、ほんの少しの取り組みが環境を守ることにつながります。市でも、3月に地球温暖化実行計画を改定するなど、地球環境の保全と再生などへの対応を進めています。

地球に優しい社会をつくるため、一人一人が環境について考え、自分ができることから実践していきましょう。

環境政策課 ☎25-2749

## 他人ごとにしないで行動を



神奈川工科大学  
応用バイオ科学部応用バイオ科学科  
教授 鳴海 明 さん

地球温暖化などへの対策が待たなしの状況の中、環境を守るために大切なのは、他人ごととしないで、自分たちの問題だという意識を持つことです。

世界には、一人一人の環境保全への意識が高い国がたくさんあります。例えばヨーロッパ各国では、電力会社を選択する際、コストが高くついても再生可能エネルギーを主体とした会社を選択する人たちが大勢います。幼い頃から環境は守らなければいけないという文化の中で生活し、当事者意識が根付いているから、このような行動が自然にとれるのです。私たちも、まずは地球環境を知ることから始めて、家庭や学校、企業などでの環境教育を充実させ、一人一人の意識を高め、地球環境に対する自分なりの考えを持つことが必要です。

どんな小さなことからでも構いません。私たちの地球を守るため、できることから取り組みましょう。

## 3010運動にご協力を

市では、食べ残しを減らすため、会食などの席で最初の30分と最後の10分は自席で食べる「3010運動」を推進しています。

協力店も募集中

加盟店のロゴマーク

協力店は☎で紹介するほか、運動のガイドブックや缶バッジ、ポスターを配布します。

☑申込書(☎からダウンロード可)に必要事項を書き、直接またはファクス、Eメールで環境政策課へ。

☎環境政策課 ☎225-2749 ・ FAX 223-1668 ・ ✉3100@city.atsugi.kanagawa.jp



食べ残しを減らそう

## もったいない鬼ごっこ

参加者募集

なぜ食品が廃棄されるのか、生産から消費までの過程を食材になりきって体験できます。ゲームを通して私たちにできることを学んでみませんか。

《日時》7月31日、14時~15時30分

《会場》あつぎ市民交流プラザ

《対象》市内在住の小学生と保護者40人程度(未就学児は除く)

無料

☎6月30日までに電話で環境政策課へ。

☎172032

☎環境政策課 ☎225-2749





鐘ヶ嶽山頂付近で参拝者やハイカーを迎える浅間山七澤神社本殿。修繕前の屋根(右上・中央)と、修繕後の屋根(右下)



長さ5mにも及ぶ例大祭の行灯は、地域に住む越智さん(右)がデザイン



例大祭当日の通拝所入口



森の里中学校美術部の生徒たちが行灯の制作を手伝った



例大祭前日、みこしの準備をする総代の古根村さん



屋根を修復するためモノレールで機材を運んだ

倒木の危険があった参道のモミの木を伐採する黄金井さん

屋根だけでなく、本殿中の清掃も進めている



子どもたちのみこしが境内を練り歩いた

「チャンチャカドコチャツチャツ」。桜が舞い散る神社の境内に、にぎやかな太鼓の音が鳴り響く。4月16日、地域の祭りとして親しまれている、七澤神社の「例大祭」が開かれた。みこしを担ぐ子どもたちの元気な掛け声や演芸のステージ、屋台から立ち上る香ばしい匂いなどが、集まった人々を笑顔にした。

例大祭は神社が主催する最も大きな行事で、氏子総代(※1)の9人が準備を進め、取り仕切った。地域住民や中学生が描いた行灯が飾られたり、子どもたちのために大道芸人が招待されていたりと、より多くの人に楽しんでもらえるよう工夫が施された。

### 本殿の危機

祭りの会場となっているのは東丹沢七沢観光案内所近くの通拝所(※2)で、本殿は標高561mの鐘ヶ嶽山中にたたずむ。もともとは浅間神社だったが、明治5年に焼失。翌年、周辺の二つの神社と合わせて七澤神社と改称し、同12年に氏子たちの手で再建された。

麓の登山口から本殿までは、直線距離で約1500mある。狭い急坂などもあり大人の足でも1時間以上はかかるため、参拝は容易ではないが、毎年正月前には自治会が持ち回りで参道を清掃するなど、地域で大切にされてきた神社だ。参道はハイキングコースに指定され、ハイカーたちにも愛されている。

黄金井さんは平成22年に総代の役目に就くと、清掃のために初めて本殿の屋根に登り、驚いた。長年の雨や落ち葉が泥となって溜まり、屋根を腐らせていたからだ。20年来的懸案事項と聞

### 切り開いた山頂への道

修繕には大量の資機材の運搬を要するため、作業用モノレールの敷設が必須だったが、当初は多額の費用を懸念して反対する声もあった。一部には、本殿を下に移転する提案もあったという。「神社は長年、みんなの心の拠り所となってきた地域の宝。軒並みならぬ苦勞をして建てた先代たちのためにも、この場所を守っていくべき」と考えていた黄金井さんは、全員の賛成にこだわり周囲を説得。モノレールの敷設が決定したのは、3年後だった。

モノレールは、施工業者に一任すれば完成を待つことができた。しかし黄金井さんたちは、レールを敷く道を自力で作ることを選択した。費用を抑えることはもちろん、自然保護のため樹木の伐採が最小限で済むようにしたことから、山頂まで登っては下りることを繰り返して、最善と思われる全長約600mのルートを決めると、その道中に生えている木々を自分たちで伐採した。道のない山の中をはって登り、木を切るのは困難の連続だった。40度近い傾斜では滑る上に、フジの木などはツルが絡まって簡単には倒れなかった。モノレールが山頂まで到達したのは、26年10月。これにより、発着点となる林道から本殿までを、片道約15分で往来できるようになった。

### 守り人の務め

モノレールが設置されてからは山の中腹での作業も可能となったため、黄金井さんたちは倒木の恐れのある樹木の伐採など、ハイキングコースでもある参道の整備に一層力を入れている。「後は、ハイカーや参拝者たちのためのトイレの設置に最優先で取り組みたい」と参道の途中には休憩できるベンチを作り、山頂付近は部分的に伐採して見晴らしを良くしよう」と新たな目標にも意欲は尽きない。

ふるさとの歴史を守り、訪れる人たちに地域の良さを感じてもらうため、七澤の守り人たちはこれからも心を一つに力を合わせ、里の宝を後世につないでいく。

(※1)総代：地域の神を祭る氏子の中から、神社を維持するために選ばれた人(※2)通拝所：離れた場所から神仏などを拝むために設けられた場所



深い歴史と自然の魅力にあふれる七沢地域には、明治時代以前から里の人々を見守ってきた神社がある。鐘ヶ嶽の山頂付近に建つ、浅間山七澤神社だ。今回は、その存続の危機に直面しながらも、努力を惜しまずに地域の宝を守った9人の総代たちの思いに迫る。

# 特集 七沢の守り人



## 鐘ヶ嶽エリア 周辺MAP

**アクセス**  
厚木バスセンター9番乗り場  
七沢行きバス  
「広沢寺温泉入口」下車  
※伊勢原駅、愛甲石田駅から七沢方面のバスあり

山頂からの見晴らし  
鐘ヶ嶽  
見城  
七澤神社本殿  
七澤神社通拝所  
七澤森林公園  
七澤温泉入口  
東丹沢七沢観光案内所  
広沢寺温泉入口

観光振興課 ☎225-2820

## 地域でつなぐ命のバトン

宮の里中央自治会に救命サポート隊発足



発足式では救命への決意を新たに誓った

4月22日の発足式で、落合穂積隊長(68)は「災害時には、多くの住民が救助を必要とすると考えられるので、皆で備えたい」と決意を述べました。今後は、年に2回訓練を実施して、万が一の出動に備えます。

心肺停止などの救急事案が発生した際、地域住民が救急現場に駆けつけ、救急車が到着するまでの間、応急手当を行う住民組織「市民救命サポート隊」が宮の里中央自治会で結成しました。サポート隊は、平成26年に県内で初めて森の里自治会で県内2例目となります。

地域での災害時における防災意識が高かったこともあり、サポート隊の結成に至りました。

## 学校・保護者・地域が連携した学校づくり

コミュニティ・スクール研修会を開催

学校・保護者・地域が協働で学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の全市立小・中学校での展開に向け、市教育委員会が5月10日・11日、教職員などを対象にした研修会を開催しました。校長や教頭ら114人が参加し、コミュニティ・スクールの制度や現状、実例などを学びました。コミュニティ・スクールは、



教職員ら114人が講師の話に真剣に耳を傾けた

文部科学省が定める「次世代の学校・地域」創生プランに位置付けられた取り組みの一つ。保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に当たり、学校の応援団として、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めることを目的としています。市では平成26年度に、相川・戸田小学校と相川中学校の3校をモデル校に指定。30年度までに全市立小・中学校36校に導入します。



## 「せんみ凧」天高く

玉川地区で伝統のたこ揚げ大会

いた佐々木弥英さん(7)は「たこ揚げをしたのは初めて。高く揚がってくれて楽しかった」と笑顔で話しました。



青空に舞う「せんみ凧」

せんみ凧は、せみの形を模した横60センチ、縦30センチほどのたこです。玉川地区で昔から子どもたちの成長を祝い、5月の節句に揚げられていました。大会は地域の文化振興をより一層深めようという行われ、今年で16回目。参加者らは、せんみ凧の継承に取り組む「玉川せんみ凧保存会」の皆さんの指導の元、前日から2日間にわたって、竹ひごや和紙を使用したこを作成しました。

地域に伝わる習わしを体験してもらおうと、玉川地区文化振興会が4月30日、地区内の田んぼで、「せんみ凧」のたこ揚げ大会を開催しました。親子連れなど約150人が集まり、色鮮やかなせんみ凧を青空に舞い上がらせました。

## 水難事故に備え救助の連携を強化

相模川で合同救助訓練を実施

アユ漁の解禁や梅雨入り、夏の行楽・台風シーズンを前に、厚木・海老名・座間3市の消防本部が5月15日、相模川大堰周辺で水難救助合同訓練を実施しました。訓練は、川を遊泳中の男性と救助を試みた男性の2人が流され、行方不明となった水難事故を想定。各市の消防隊が救命ボートを出動させ、水難救助隊員が潜水し要救助者を検索しました。約2時間の訓練で、各市との水難事故発生時の協力体制を確認しました。



潜水中の隊員に検索区域を指示

隣市で発生しています。毎年6月頃からなる7月・8月頃にピークを迎えることから、消防本部は注意を呼び掛けています。

## ATSUGI X NEW ZEALAND ホストタウン通信



鋭いタックルを決めるNZ選手

### NZ女子ラグビー代表チームが優勝

今年の3月と4月に荻野運動公園で合宿を行っていたNZ代表チーム「ブラック・ファーンズ・セブンズ」。4月22日から23日まで北九州

市で開催された「HSBCワールドラグビーセブンズシリーズ大会」に出場しました。チームは初戦から順当に勝ち進み、迎えたカナダとの決勝戦では、終了間際に逆転トライを決め17対14で勝利。合宿の成果をいかに発揮し、見事優勝を果たしました。大会後、チームの中心メンバーとして活躍したナイル・ウィリアムズ選手(29)は「合宿中、私たちを応援してくれた厚木市の皆さんには心から感謝します。素晴らしい場所と素晴らしい人たちのおかげで、最高の成績を収めることができました」とメッセージを送ってくれました。市では引き続きチームを支援し、NZとの交流を深めていきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

働き方改革。テレビや新聞をにぎわしている言葉の一つです。慢性化する長時間労働や少子高齢化などによる働き手不足を受け、政府が進める「最大のチャレンジ」です。そのような中で、本市で導入したのが「あつぎスマート・ワーク宣言」です。上司が仕事を無駄なく手際よくマネジメントすることで、職員のワーク・ライフ・バランスを実現していく取り組みです。新年度に入り、



幹部職員とスマート・ワーク宣言

ト・ワークです。こうした考えを消防や病院、保育所まで共有し、宣言するのは全国でも例がありません。行政改革を追求すると、職員の負担が増えてしまうというジレンマを抱えます。しかし、その負担は職場で補い合えば緩和できるものです。職員一人一人の効率の良い仕事と充実したプライベートを実現することで、仕事の生産性や市民サービスがしっかりと高めてまいります。

私や副市長、教育長をはじめとした36人の幹部が宣言書に署名。さらに各課長も職場の仲間たちと共に目標を宣言し、風通しの良い職場づくりを誓いました。部下の育児を支援するイクボスが全国に広がる中、イクボスに限らない幅広い働き方を改革するのがスマート

# タウンガイド

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

**マイタウンクラブ**  
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①②」  
 と記されたものは、申し込みも  
 できます。  
 ③=申し込み ④=問い合わせ  
 ⑤=電話番号 ⑥=ファクス番号  
 ⑦=Eメール ⑧=市ホームページ  
 ⑨=GENKIポイント対象事業

## アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

6月17日、10時～14時。アミューあつぎ。JAあつぎファーマーズマーケット「夢未市」が特別出店。朝採れの新鮮な野菜や厚木産の米「キヌヒカリ」などの販売。④商業にぎわい課 ☎225-2834。⑥1

## 七沢自然ふれあいセンターの催し

①ステップアップキャンプ  
 7月26日～28日、10時～翌々日15時(2泊3日)。七沢自然ふれあいセンター。川遊び、キャンプファイヤー、アウトドアクッキングなど。小学4～6年生30人。5500円(食材費、保険料、リネン代)。①②172034

②七沢チャレンジキャンプ  
 8月14日～18日、10時～(4泊5日)。七沢自然ふれあいセンター。小屋づくりや野外炊事など。小学5年～中学3年生30人。9500円(食材費、保険料、リネン代)。①②172035  
 ③直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、学年、学校名、電話番号を書き、①6月30日②7月5日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。

## 心を休めるための眠りのヒケツ

6月29日、10時～11時30分。保健福祉センター。睡眠のメカニズムと良質な睡眠について学ぶ。市内在住の方40人。無料。③6月1日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。⑥10

## 厚木でホテルを観察しよう

6月24日、18時30分～20時30分。ゲンジボタルを観察し、環境保全などへの理解を深める。定員120人。無料。③往復ハガキに「ホテル希望」、参加者全員の〒住所、氏名、年齢、代表者の連絡先を書き、6月15日(必着)までに〒243-0003寿町3-15-26郷土資料館 ☎225-2515へ。抽選。場所は当選者に通知。①②172001⑥1

## あそぼう!まなぼう!まめの木タイム

6月14日、11時～12時。鳶尾児童館。「秘伝!手遊びの秘密☆親子で楽しむ遊びの時間」をテーマに、保育士と一緒に子どもの発達を促す手遊びを学ぶ。③当日直接会場へ(駐車場はありません)。④福祉総務課 ☎225-2252。⑥1

## 障がい者手作り雑貨展示即売会

6月1日～30日。10時～21時(30日は17時まで)。有隣堂厚木店。市内の事業所などで働く障がいのある方が作った製品を販売。④井泉憩の家 ☎241-0866。

## 男女共同参画週間

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。キャッチフレーズは「男で○、女で○、共同作業で◎」。全ての方が、職場で、地域で、家庭で、学校でそれぞれの個性と能力を発揮できる社会を目指しましょう。

## ■記念映画上映「彼らが本気で編むときは、」&トークショー

6月24日、12時20分～15時5分。アミューあつぎ。映画「彼らが本気で編むときは、(出演:生田斗真、桐谷健太ほか)」の上映と、映画プロデューサーによる「映画が伝える人権・男女共同参画の大切さ」がテーマのトークショー。定員174人。1400円。学生割引などあり。④市民協働推進課 ☎225-2215。⑥1

## ふるのしょう「古庄」上古沢の歴史をたずねて

6月28日(雨天時は30日に順延)、9時30分～12時30分。バス停「森の里5丁目」集合。観光ガイドと上古沢の歴史について学びながら寺社を巡る。定員25人。500円(資料代、保険料)。③6月15日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。①②162619⑥1

## 日本赤十字社水上安全法講習会

7月8・9・15・16日(全4回)、9時～17時。荻野運動公園。溺れた

人の救助や応急手当の方法など。18歳以上で全日程に参加でき、一定の泳力(詳細は日本赤十字神奈川県支部ホームページをご覧ください)がある方30人。2200円。③往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名または勤務先を書き、7月2日(必着)までに〒243-8511福祉総務課 ☎225-2200へ。抽選(市内在住在勤在学の方を優先)。検定合格者に認定証を交付。①②172030⑥1

## 陶芸教室

7月7・14日、8月11日(全3回)。19時～21時。あつぎ市民交流プラザ。ビアマグとひら皿を作る。市内在住在勤で20歳以上の方5人。3400円。③電話またはファクスに、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・ファクス番号を書き、6月12日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。⑥1

## 国民健康保険料の納入通知書を発送

6月中旬に納入通知書を発送します。期限までに納めてください。会社などで新たに健康保険に加入した方は、必要書類をお持ちの上、国民健康保険の脱退手続きをしてください。④国保年金課 ☎225-2122。

## 納付コールセンターの開設

コールセンターでは6月1日から①国民健康保険料②後期高齢者医療保険料③介護保険料の納付をお忘れの方に、電話で納付を呼び掛けます。コールセンターからATM操作や指定口座への振り込みを指示したり、自宅へ訪問したりすることはありません。不審な点がありましたらお問い合わせください。④国保年金課①☎225-2123②☎225-2223③介護福祉課 ☎225-2393。

## 65歳以上の方に介護保険料の納入通知書を発送

6月中旬に納入通知書を発送します。保険料額や支払い方法などをご確認ください。年金受給額が年額18万円以上の方は、年金の定期支払い(年6回)の際に差し引かれる特別徴収、年金受給額が年額18万円未満の方は普通徴収(納付書または口座振替)で納めていただきます。年度途中で65歳になった方や転入した方などは、特別徴収に切り替わるまで普通徴収になります。安全・便利な口座振替による納付をご利用ください。④介護福祉課 ☎225-2393。

## 児童手当現況届の提出を

児童手当を受給している方を対象に継続支給の審査を実施します。6月上旬に市が送付する現況届の内容をご確認の上、必要書類を添えて6月30日(必着)までに直接または郵送で提出してください。④子育て給付課 ☎225-2230。

## 生産緑地地区の指定申し出を受け付け

《事前相談期間》6月5日～16日(土・日曜を除く)《申し込み期間》6月19日～23日《場所》都市計画課《対象》市街化区域内の農地(500平方メートル以上)で、①平成5年以降に相続などで新たに所有権を取得②既指定の生産緑地地区と一体化または整形化が図られる一のいずれかを満たす農地。④都市計画課 ☎225-2401。

## 6月1日は「景観の日」

大きな建物などには法律や市の条例に基づき、色彩に関するルールが決められています。6月1日は「景観の日」です。ルールを守って良い景観づくりにご協力ください。④都市計画課 ☎225-2401。

## 危険物安全週間

6月4日～10日は危険物安全週間です。スローガンは「あなたなら無事故の着地 決められる!」。ガソリンなどは、管理や取り扱いを間違えると重大な事故につながります。大切な命を守るため、正しく扱いましょう。④予防課 ☎223-9369。

## みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》  
 ■(仮称)金田老人憩の家・児童館複合施設の設置に関する基本方針  
 《閲覧期間》6月1日～7月3日《閲覧場所》介護福祉課窓口、青少年課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木駅・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、子育て支援センター、環境センター、④など  
 《応募資格》市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-0815介護福祉課 ☎225-2224・☎221-1640・☎2230@city.atsugi.kanagawa.jpまたは青少年課 ☎225-2581・☎224-9666・☎8700@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介  
  
 厚木市 インターネットモニター 検索

5月1日号「広報あつぎ」を読んで  
 ◆高齢者の一人暮らしなどでは、民生委員の重要性がとても高いと感じた/70代男性◆高齢者が増えていく中で、外出支援はとて素晴らしいと思った/40代女性◆自転車のルールの勘違いや、よく分かっていなかったことも多かったためになった/30代女性◆ヘルメットの着用を推進しているが、地域によって着用率にばらつきがあると感じる。もっと周知してほしい/40代男性◆街のトピックスが分かりやすくまとまっていて良かった/40代男性

編集後記  
 特集の取材で七沢神社の総代の皆さんにお世話になりました。代表の黄金井さんは、伺う度に地域で見られる花や自然の写真を見せてくださったのですが、「七沢の自然を守る」と書かれた黄金井さんの指先に、野生のヤマガラが止まっている写真が特に印象的でした。巣箱を作ったら来るようになったそうですが、そこまで懐いたことに驚くとともに、黄金井さんの地域への深い愛情が伺え、活動の原動力を見た気がしました/山崎

目指せ! 未来のオリンピック

# スポーツキャンプ イン 日体大

参加者募集

世界で活躍するアスリートの育成を目的に、市と「体育・スポーツ振興に関する協定」を結んでいる日本体育大学でスポーツキャンプを開催します。設備が充実した大学で、トップレベルの講義や実技指導などを体験してみませんか。今年、広島県呉市の子どもたちと合同で実施します。



最新のトレーニング設備



**期間** 8月24日～25日 (1泊2日)

**場所** 日本体育大学 世田谷キャンパス

**内容** 講話・講義、トレーニングセンターでの実技指導、大学生とのスポーツ交流など

**対象** スポーツに意欲的に取り組む市内在住在学の小学5・6年生15人

**費用** 5000円程度(宿泊費、食事代など)

**申込** 往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、性別、学校名、学年、取り組んでいるスポーツ、保護者氏名(自署)を書き、6月28日(必着)までに〒243-8511スポーツ推進課へ。抽選。応募は1人1枚。詳しくは、学校や公民館などにあるチラシや、[☞](#)をご覧ください。

※8月8日、19時～20時に参加者説明会を開催

☎スポーツ推進課 ☎225-2531



スポーツを通して大学生と交流

## 第4回 あつぎミュージックフェスティバル

あつぎ 元気Wave  
ケーブルTV 6/16～

### 新人シンガー発掘オーディション 出場者募集

本市出身の若手アーティストを育てるため、新人シンガー発掘オーディションを開催します。優勝者にはメジャーレコード会社が楽曲を提供。配信デビューができる他、11月26日に文化会館で開催されるコンサートで、有名アーティストと夢の共演ができます。

☎文化生涯学習課 ☎225-2508

**対象** ①市内在住勤在学②市内の学校を卒業③活動拠点が市内一のいずれかに該当する方が半数を占める中学生～30歳の方で構成されているグループまたは個人(プロダクションと契約がない方。未成年者は保護者の同意が必要)

**申込** 文化生涯学習課にある応募用紙(☞からダウンロード可)に必要な事項を書き、音源1曲分(CD-R)と参加費1000円を添え、直接または現金書留で6月30日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課へ(音源は☞からも応募可)。一次審査(書類・音源審査)の合格者は8月21日の二次審査に出場。



#### 第3回オーディション優勝者

たかもり しゅん  
高森 峻さん (21)

「自分のやりたいことをやろうと、思い切って受けたオーディションは、人生を180度変えてくれました。皆さんも、自分ができる一杯を届けてチャンスをつかんでください」

## 自然歳時記

### ● キビタキ ● ヒタキ科

体長は13.5センチほど、雄は眉班と喉、胸や腰の部分が黄色の美しいヒタキの仲間。雌は地味で目立たない色をしている。広葉樹林でさえずりの声をよく聞く。／飯山白山森林公園で見つけた。

写真・文/吉田文雄



「ピックルルピピロピピロ」と美しいキビタキの声が聞こえてきた。耳を澄ましてじっと声の辺りを見つめていると、中空の枯れ枝の上でさえずるキビタキがいた。意外と小さな鳥で、カメラを用意している間に見逃してしまったが、まぶしい新緑の輝きが日常の疲れを忘れさせるコーラスだった。

ふと見上げると、幾重にも重なる若葉が風に揺れ、すがすがしい空気と共に美しいキビタキが飛んできた。キビタキは4月下旬ごろ渡来する夏鳥で、山地や丘陵地で繁殖し、秋に南の国へと渡っていく。カエデの枝に止まって素早く虫を取りこちらを見ていた。今日も心に残る素晴らしい日だった。

厚木市の人口  
(5月1日現在)

 世帯数 9万7537世帯 (前月比405世帯増)

 人口 22万5414人 (前月比420人増) 男11万6473人・女10万8941人